



プレスリリース  
報道関係者各位

2017年9月25日  
CYBERDYNE 株式会社

**新製品「HAL®腰タイプ 自立支援用」販売開始のお知らせ**  
～重介護ゼロ®社会の実現に向けて、介護する側も介護される側もサポート～

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市、代表取締役社長：山海嘉之）は、足腰の弱った方などの体幹・下肢機能の維持向上を目的とする新製品「HAL®腰タイプ 自立支援用」を、2017年10月2日に販売開始いたします。

本製品は、従来の HAL®製品と同様に、運動時に脳から筋肉へ送られる信号を“生体電位信号”として読み取ることで、装着者の思い通りの動作を実現します。足腰の弱った方などが装着して体幹動作や立ち座り動作などを繰り返すことによって身体そのものの機能向上が促されるため、HAL®を外した状態であっても日常生活での自立度を高めることが期待できます。また、本製品は3キロのコンパクトな軽量モデルで装着・操作が容易であること、装着者の思い通りの動作を実現できることから、高齢者の方の運動に気軽に楽しく活用いただけます。本製品の導入により、介助なしでの立ち座りなど、介護される人の QOL（クオリティ オブ ライフ；生活の質）が向上することに加えて、介護する人の身体的負担が大きく軽減されることが期待されます。

要介護者・寝たきり高齢者に対する「重介護問題」は少子高齢社会が直面する我が国の深刻な社会課題ですが、当社は革新的サイバニクス\*技術を駆使した本製品によってこれを解決し、誰もが健やかで快適な生活を長く営める『重介護ゼロ®社会』を実現することを目指します。また、社会全体の要介護者を減らすことを通じ、介護保険制度における財政難や介護離職、介護人材不足などの問題解消にも寄与してまいります。

本製品につきましてはこれまで介護施設様のご協力のもと効果の検証を確認してまいりましたが、今後まずは主に介護施設様向けに限定販売し、現場での実証を深めつつ更なる高機能化を図った上で、販売台数を順次拡大してまいります。このような取り組みを通じて、介護福祉分野における研究開発と新産業創出を加速させ、人・ロボット・情報系を複合融合した革新的サイバニクス技術によって『Society 5.0』（超スマート社会）の実現に貢献してまいります。

※本製品に係る研究開発の一部は、総合科学技術・イノベーション会議が主導する革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の成果に基づきます。

- (\*) サイバニクス：人・ロボット・情報系が融合複合した新しい学術領域。医療、介護福祉、生活分野を対象として、人と情報系とロボット系を機能的に繋ぎ、物理的・情動的・生理的インタラクションを実現します。サイバニクスは、筑波大学山海嘉之教授(CYBERDYNE 代表取締役社長)が人支援を目的として創成し、『Society 5.0』を牽引するコア技術領域でもあります。



#### < CYBERDYNE 株式会社について >

CYBERDYNE 株式会社は、2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術を活用した革新的サイバニクスシステム（サイバニクスデバイス、サイバニクスインタフェースなど）により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活（職場環境を含む）分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツ HAL®は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した搬送ロボット・清掃ロボット、腰部負荷を低減する HAL 腰タイプ、小型の単関節 HAL、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーなど、次々と新製品開発を進めています。詳細については、<https://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

#### お問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社

広報・IR 担当 TEL： 029-869-9981